

# 男性看護師のキャリア志向に関する 認識と実際その2

—男性看護師の臨床経験年数別での比較—

第34回日本看護科学学会学術集会発表

全国男性看護師学会 無断使用禁止

# 目的

男性看護師は増加傾向にある。

2008年：44,884人 2010年：53,748人 2012年：63,321人



- 入職後早期に離職する
- 将来への不安を抱いている
- 将来像が考えられない
- やりがいを感じない

男性看護師



- キャリアアップを考える
- 将来像を明確化する
- 看護師としての夢や希望を実現するために邁進する

男性看護師

経験年数によりキャリア志向に関して違いはあるのか？



男性看護師のキャリア志向に関する認識と実際について臨床経験年数別での特徴や違いを明らかにする。

# 方法

## 対象

全国の150床以上の病院で、複数（2診療科以上）の診療科を有する1,150施設の内、本研究に協力の得られた544施設に勤務する男性看護師（准看護師を含む）8,539名。

## 調査方法

平成24年12月～平成25年4月に無記名の選択式一部記述式の自記式質問紙調査を実施し回収は、回答者本人による郵送法とした。

## 分析方法

対象者の臨床経験年数を1-2年目、3-5年目、6-10年目、11年目以上の4群に分け各項目の無回答を除き、 $\chi^2$ 検定と残差分析または一元配置分散分析と多重比較を実施した。有意水準は0.05%以下とした。

## 倫理的配慮

研究代表者が所属する施設の倫理審査会の承認を得て実施した。

# 回答者の背景

## 回答者

全体で3,713名(回収率43.5%)

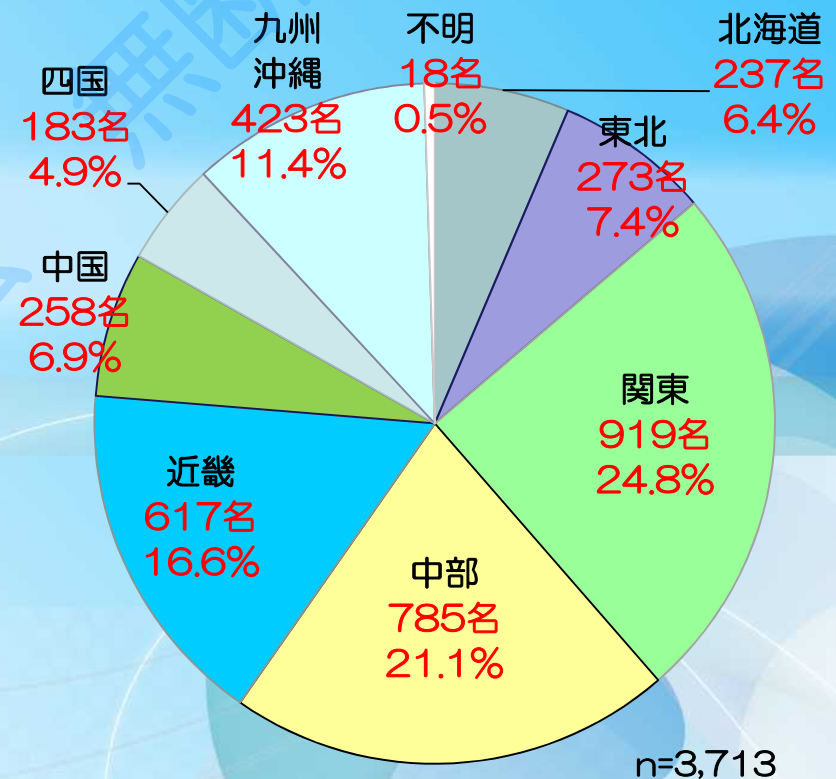
## 回答者の背景

平均年齢 $33.2 \pm 7.8$ 歳、  
平均臨床看護経験年数 $9.54 \pm 7.4$   
年目

## 配属先

最多、内科系病棟543名(14.6%)  
次いで、混合病棟542名(14.6%)

## 回答者の勤務施設の所在地



## 将来的に目指そうと考えている看護職関連の職種の有無

	経験年数				合計
	1-2年目	3-5年目	6-10年目	11年目以上	
考えている職種 が「ある」 (人)	256	414	540	448	1,658
経験年数群の%	52.9%	50.1%	50.7%	36.0%	45.8%
調整済み残差	3.4**	2.8**	3.8**	-8.5**	
考えている職種 が「ない」 (人)	228	413	525	795	1,961
経験年数の%	47.1%	49.9%	49.3%	64.0%	54.2%
調整済み残差	-3.4**	-2.8**	-3.8**	8.5**	
合計 (人)	484	827	1,065	1,243	3,619

\*\*p<0.01

# 看護職関連を含む学校への進学希望の有無

	経験年数				合計
	1-2年目	3-5年目	6-10年目	11年目以上	
今後、進学希望が「ある」 (人)	121	183	246	235	785
経験年数群の%	24.8%	21.9%	23.2%	18.9%	21.6%
調整済み残差	1.8	0.2	1.5	-2.9**	
今後、進学希望が「ない」 (人)	367	652	815	1,009	2,843
経験年数の%	75.2%	78.1%	76.8%	81.1%	78.4%
調整済み残差	-1.8	-0.2	-1.5	2.9**	
合計 (人)	488	835	1,061	1,244	3,628

\*\*p<0.01

# 看護師という職業へのやりがいの程度

経験年数			
臨床看護 経験年数	n	M (SD) 感じている5点 感じていない1点	多重比較 Tukey HSD
1-2年目	497	3.94 ± 0.98	経験年数別での有意差なし
3-5年目	836	3.93 ± 0.99	
6-10年目	1,071	4.00 ± 0.96	
11年目以上	1,262	3.98 ± 1.00	
合計 (人)	3,666	3.97 ± 0.98	

# 離職を考えたことの有無

	経験年数				合計
	1-2年目	3-5年目	6-10年目	11年目以上	
離職を考えたことが「ある」 (人)	214	384	500	635	1,733
経験年数群の%	43.6%	45.8%	46.8%	50.6%	47.5%
調整済み残差	-1.8	-1.1	-0.5	2.8**	
離職を考えたことが「ない」 (人)	277	455	568	619	1,919
経験年数の%	56.4%	54.2%	53.2%	49.4%	52.5%
調整済み残差	1.8	1.1	0.5	-2.8**	
合計 (人)	491	839	1,068	1,254	3,652

\*\*p<0.01



# 看護職継続におけるモデルや目標とする男性看護師の必要性

経験年数			
臨床看護 経験年数	n	M (SD) 必要だと思う5点 思わない1点	多重比較 Tukey HSD
1-2年目	495	4.19 ± 1.04	<p>0.008 (1-2 vs 3-5)</p> <p>0.006 (1-2 vs 11+)</p>
3-5年目	846	4.16 ± 1.11	
6-10年目	1,076	4.10 ± 1.14	
11年目以上	1,270	4.00 ± 1.17	
合計 (人)	3,687	4.09 ± 1.13	

# 身近にモデルとなる男性看護師の有無

	経験年数				合計
	1-2年目	3-5年目	6-10年目	11年目以上	
身近にモデルが「いる」 (人)	247	393	471	364	1,475
経験年数群の%	50.0%	46.5%	43.8%	28.7%	40.0%
調整済み残差	4.9**	4.4**	3.0**	-10.2**	
身近にモデルが「いない」 (人)	247	452	604	905	2,208
経験年数の%	50.0%	53.5%	56.2%	71.3%	60.0%
調整済み残差	-4.9**	-4.4**	-3.0**	10.2**	
合計 (人)	494	845	1,075	1,269	3,683

\*\*p<0.01

## まとめ

- ◆ 男性看護師は1年目、2年目という早期から10年目ごろまでに、自分の目標や将来像を明確にし、男性看護師としてのキャリアをデザインしていると考ええる。
- ◆ 離職を考えたことのある者の割合は、10年目以下に比べ11年目以上で有意に多い傾向だが、1-2年目に離職を考えたことがある者も40%以上であった。
- ◆ 看護職を継続していく上でモデルや目標となる男性看護職を必要としながら半数以上が「いない」現状である。

### 男性看護師

- 1年目からのキャリアアップ支援
- 男性看護師の複数配置
- モデルを見つける
- 様々な男性看護職者と交流

- 離職防止と看護師継続
- 同一施設への定着が期待できる。